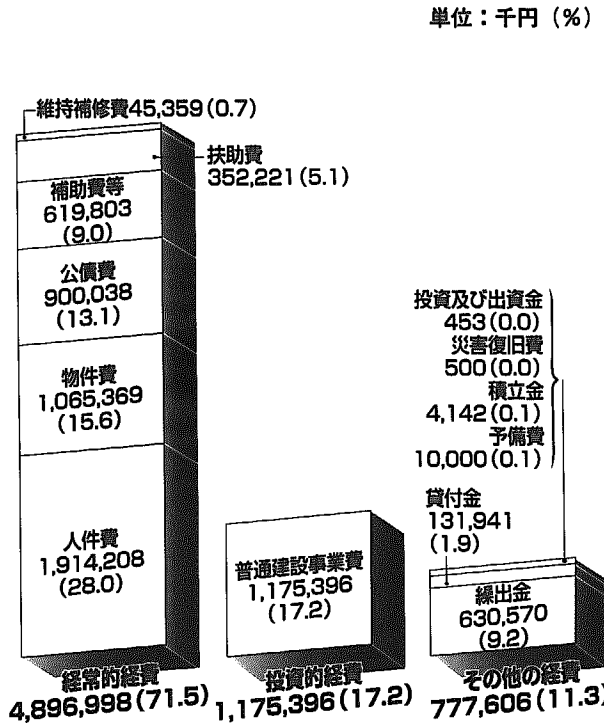
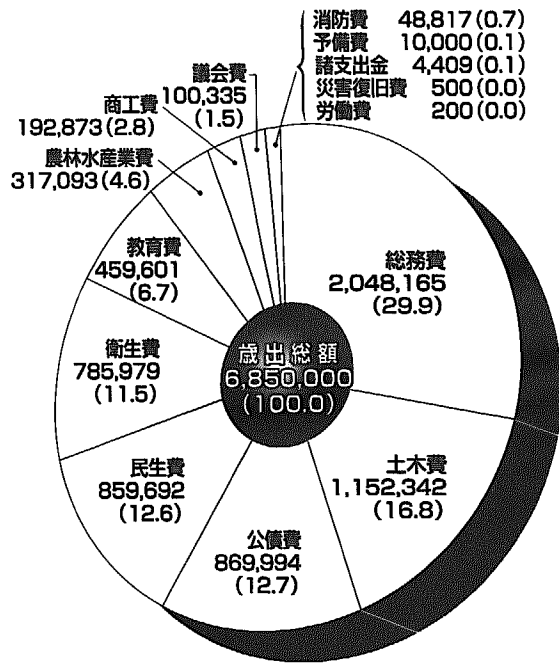


### 歳出 68億5000万円



単位：千円 (%)

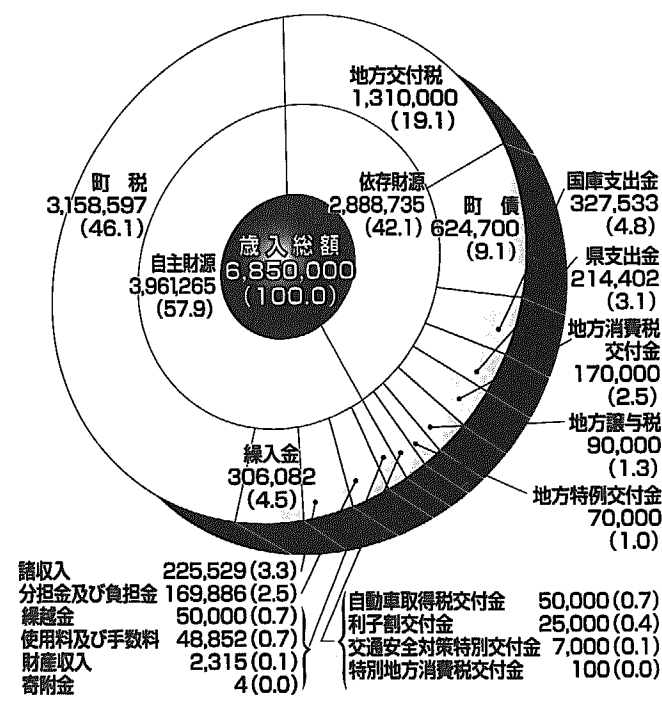
### 目的別

### 性質別

### 前年度とくらべてみると

	平成12年度	平成11年度
◆総額	68億5000万円	67億円
前年度比	2.2%	-7.7%
町民一人当たりでは	26万4489円	26万1423円
◆自主財源	39億6126万5千円	40億1396万4千円
歳入の中での割合	57.9%	59.9%
◆町税	31億5859万7千円	30億7757万3千円
歳入の中での割合	46.1%	45.9%
町民一人当たりでは	12万1958円	12万82円
◆町債(借金)	6億2470万円	6億5490万円
歳入の中での割合	9.1%	9.8%
◆地方交付税	13億1000万円	10億3000万円
歳入の中での割合	19.1%	15.4%
◆人件費	19億1420万8千円	19億3056万9千円
歳出の中での割合	28.0%	28.8%
◆公債費(借金の返済)	9億378千円	3億8162万2千円
歳出の中での割合	13.1%	13.2%
◆普通建設事業費	11億7539万6千円	11億8789万6千円
歳出の中での割合	17.2%	17.7%

### 歳入 68億5000万円



単位：千円 (%)

## 歳出

前年度より2.2ポイント増

一般会計予算とは、町民の皆さんからいただいた町税や国、県からの補助金などを、町がどのように使うかを、年度始めに決めたものです。その年度(4月1日から翌年3月31日まで)の町政の基本となります。

年度途中で事業を変更したり、予定した町税や補助金が増減した場合は、補正予算が組まれます。(年度始めに決めた予算は、補正予算に対し、当初予算と呼びます。)

平成12年度の一般会計当初予算は、総額68億5000万円、前年度より1億5000万円、2.2%の増となっています。町民一人当たりでは、26万4489円(2月末日現在の人口25,899

人で計算)となり、前年度より3066円増えています。

性質的に予算を見ると、人件費や公債費(町の借金の返済)、物件費などの必要不可欠な経費(経常的経費といえます)が、71.5%を占めています。

学校や道路などの各種施設を建設するための費用である普通建設事業費は11億7539万6千円で、前年度より1250万円、1.1%と減少しました。

今年度の事業として大きなものは、黒埼中学校プール建設事業、継続事業としては、町道鳥原寺地線整備事業やいこいの路環境整備事業などがあります。

## 歳入

自主財源の割合は57.9%

歳入では、町税を31億5859万7千円と見積もりました。前年度より8102万4千円の増です。町税のうち町民税は13億1000万円(前年度より6500万円増)、固定資産税は16億4849万6千円(1002万3千円増)を見込みました。

繰入金は、町の貯金である基金を取り崩したものです。3億608万2千円を計上しました。このうち財政調整基金から1億円、都市整備基金から1億円などを繰り入れます。分担金及び負担金は、ほとんどが保育料です。財産収入は、ほとんどが町の貯金である基金の利子。諸収入は、商工費貸付金の元利収入などです。以上が、町だけでまかなえる自主財源で、

前年度より5269万9千円減り、歳入に占める割合は57.9%と昨年より2ポイント減っています。

依存財源は、前年度より2億269万9千円増の28億8873万5千円です。このうち地方交付税が13億1000万円、国庫支出金が3億2753万3千円、県支出金が2億1440万2千円、地方消費税交付金が1億7000万円と見込まれています。

このほか、どうしても必要なものは、借金しなくてはなりません。これが町債で、6億2470万円、前年度より3020万円減りました。町債の残高は、平成12年度末には95億8358万5千円になる見込みです。

# 緑あふれる文化のまちをめぐりて

町へは毎年、町民の皆さんからいただいた町税など多額のお金が入ります。それらのお金は町民皆さんのために有効に使わなくてはなりません。福祉や保健、学校、社会教育、道路・下排水の整備など。これらのお金の入り方と使いみちの計画を予算といえます。

平成12年度の一般会計と5つの特別会計、2つの企業会計の予算が3月議会で承認されましたのでお知らせします。